



バラ
ばら
野
野ばら
バラ



好きやずっとは
どこにもないから
私は毎日
うそをつく。

今まで
好きな人に
いろんなよび名を
つけてもらつた
けれど

こんどの私は
うさぎさん
つて呼ばれている。

いまにもどーかに

「こんなおばさんが
どーにいくのか

ぴょんぴょん
とんでいきそう
だって。

こつそりのぞく
人の不安は
みんなとてもおかしい。



子供のころ
じいちゃんが
教えてくれた。

人はなあ
二回死ぬで

一回目は生きるのが
やまつてしまふ時

二回目は人に忘れられて
しまふ時や

人の心の中に
おらんように
なつたら
いよいよ最後
なんや

今度こそ
本当に死ぬ

二度と生きかえらん

なぎの海で
私の手をにぎついて
くれたのは、



父親だったのか
恋人だったのか
祖父だったのか。



あなたが
どんどんうすれてゆく。

もうだいぶん
狂つているのかもしねない。
恋をしている私は
すきなひとを
忘れてしまったのに





END.